

平成 25 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス				
教科目名	情報処理 I	担当教員	田中正史	
学年学科	3 年 建築学科	後期	選択	1 単位
学習・教育目標	(D-2) 100%			
授業の目標と期待される効果： 現在の情報化社会において、コンピュータを用いた情報を処理する技術は、様々な場面で必要とされている。本科目では、建築実験で得られたデータを統計的に処理し、 <ol style="list-style-type: none"> 1) CAD を用いるための基礎知識 2) プログラミング言語 BASIC を用いた基本的なプログラムの作成と応用計算 3) Microsoft Excel を用いたデータ処理と応用計算 		成績評価の方法： 中間課題 100 点、期末試験 100 点 以上の総計 200 点の得点率により評価する。		
		達成度評価の基準： 上記試験で、以下の項目について試験し、総合して 6 割以上の正解率に達していること。 <ol style="list-style-type: none"> ① CAD の基礎知識 ② プログラミング言語 BASIC を用いた基本的なプログラム作成と計算 ③ Microsoft Excel を用いたデータ処理と計算 		
授業の進め方とアドバイス： 授業は、数値計算に必要な技術と知識を習得するため、演習を中心に行う。また、プログラミング言語 BASIC では、ポケコンを授業の中で使用するため、持参すること。				
教科書および参考書： 教科書：わかる Excel2010, 学研パブリッシング, 木下貴博・白鳥陸・わかる編集部				
授業の概要と予定：後期				
第 1 回：CAD 利用のための基礎知識				
第 2 回：ポケコンの基本操作とプログラミング言語 BASIC				
第 3 回：ポケコンによる数値計算（マニュアル計算と関数計算）				
第 4 回：ポケコンによる数値計算（メモリ計算と三角関数）				
第 5 回：ポケコンによる数値計算（座標変換）				
第 6 回：BASIC によるプログラミング（基本ルール）				
第 7 回：BASIC によるプログラミング（切り捨て、四捨五入）				
第 8 回：BASIC によるプログラミング（条件分岐） 中間課題出題				
第 9 回：Microsoft Excel の基本操作（関数の書式、エラー値の修正）				
第 10 回：Microsoft Excel による数値計算（最大、最小、平均、偏差）				
第 11 回：Microsoft Excel による数値計算（関数計算）				
第 12 回：Microsoft Excel による数値計算（条件分岐、データ検索と抽出）				
第 13 回：Microsoft Excel による数値計算（構造力学への応用）				
第 14 回：Microsoft Excel による図の描画（グラフの作成）				
第 15 回：Microsoft Excel による図の描画（図形の作成）				
期末試験				
第 16 回：フォローアップ（期末試験の解説など）				